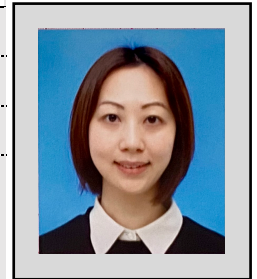


教員についての基本情報

教員名	鄭 谷心 (ZHENG Guxin・テイ コクシン)
担当教科と分野	教育方法学
研究分野	カリキュラム論・教育方法論・生活作文教育
担当授業	子どもの世界・学びの世界, 教育課程, 教育方法, 総合的な学習の時間の授業づくり, 総合的な学習の理論と実践, 教職実践研究, 小学校教育研究法Ⅰ・Ⅱ, 卒業研究Ⅰ・Ⅱなど
授業についての一言	子どもの実態や将来への夢に寄り添い、生活と科学のバランスを取れた学校教育のあり方について一緒に考えましょう。



研究の内容

- (1) 学校教育ではぐくむ資質・能力を捉える教育評価論
- (2) 生活知と学校知の融合を目指した近代中国における生活作文教育論
- (3) 21世紀における資質・能力の育成と評価を目指したカリキュラム編成論
- (4) ウェルビーイング (well-being: 健やかさ・幸福度) を保障するための教育方法論

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

この研究室では、テーマを問わず、仲間とともに、先人による優れた実践と理論の枠組みを多面的に吟味しています。具体的には、授業研究、指導と評価に関わる教職専門性、学校現場や地域との連携、教育社会学や国際比較など、様々な視点を取り入れて教育学を追究していこうとしています。以下は、この研究室で取り組まれた卒業研究論文です。

- ・ 沖縄県の公立小学校における地域連携に関する一考察—よりよい学習支援の在り方について—
- ・ 問題発見・解決の過程における数学的活動とゲームを融合した授業の一提案
- ・ 数学的コンピテンシーを育成することを目指す数学的活動の在り方に関する一考察
- ・ 沖縄県の小学校における漢字指導に関する一考察
- ・ 吉本均の学習集団論に関する一考察—学びにおける「共同」—
- ・ 小学校における人権感覚が育まれる学級経営に関する一考察
- ・ ポートフォリオ評価法を用いたキャリア教育についての一考察
- ・ 学校教育におけるボランティア学習に関する研究
- ・ 地域素材を活用した国際理解教育の教材化に関する一考察
- ・ メディア・リテラシー教育の今後の在り方に関する一考察—NIE 導入事例から考える—

研究のキーワード

国際比較、コンピテンシー、リテラシー、資質・能力、探究的な学習、生活作文、実践記録、ウェルビーイング、学習活動の類型化、授業論、評価論、カリキュラム論、教育方法論

研究室の様子

研究室では、3・4年次合同で意見を交換します。毎年のはじめに、全員にとって最も都合の良い曜日と時間を検討してゼミ開催日を決めています。ゼミ内で役割を分担し、ゼミ生が主体として勉強会やイベントを企画・開催することがあります。教員は、個別的な相談に応じて卒業研究の指導を行うこともあります。